

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール [mail@kenpoukaigi.gr.jp](mailto:mail@kenpoukaigi.gr.jp)

HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp>

第291号

2011年6月10日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

## 比例定数削減反対6・9集会 国会報告、講演、リレートークに 1200人余の熱気

「労働者・国民の声を国会から締めだす比例定数削減に反対する大集会 in 東京」は9日夜、なかのZERO大ホールで開催されました。東京はじめ首都圏、山梨県などから1200人以上の人たちが参加しました。会場は、「比例定数削減を許さない」熱気と決意に包まれました。

### 被災地に連帯して「虎舞」の演舞

開会前には荒馬座が、東日本大震災に連帯して、被災地釜石市に伝わる「虎舞」を演じました。

### 国会情勢報告、講演で学び、リレートークで会場一体に

市田忠義日本共産党書記局長・党比例定数削減反対闘争本部長・参院議員は国会報告で、民主党政権が行き詰まりのなかで、震災対応をチャンスとして「大連立」を目指しているが、国民との矛盾をきたすことだろうとし、批判の声を国会から除こうという比例定数削減が共同して狙われていることを指摘しました。

渡辺治一橋大学名誉教授は講演で、民主、自民は競って構造改革や日米同盟強化をさらに推進しようとしている事実を、国民に見抜かれる前に国会から少数派を排除し、構造改革遂行の安定的政治体制確立をねらうのが比例定数削減の目的であることを解明、国民とともに原発、消費税、TPPなどの問題を通して、学習し、行動することの重要性を強調しました。

リレートークは迫力があり、好評でした。民青同盟、新婦人、全商連、農民連、医労連、東京自治労連、都教組、東京土建の8つの仲間たちの代表者やグループが登壇し、それぞれの要求とそれを阻む悪政との対峙、比例定数削減反対のたたかいなどを映像で示しながら訴えました。

集会の開会あいさつは柴田真佐子全労連副議長、アピール提案は山口真美自由法曹団比例定数削減阻止対策本部事務局長、閉会あいさつは伊藤潤一東京地評議長がおこないました。

## 多くの労組・団体が実行委員会に参加、共同で運営

今回の集会は実行委員会が主催しました。実行委員会に参加した労組・団体は以下の通りです。(順不同)

全労連、自治労連、全教、国公労連、日本出版労働組合連合会、全国検数労働組合、映画演劇労働組合連合会、全日本年金者組合、全農協労連、日本婦人団体連合会、新日本婦人の会、婦人民主クラブ、中央社保協、国民救援会中央本部、安保破棄中央実行委員会、農民連、憲法会議、自由法曹団、全商連、全日本民医連、民青同盟、全学連、憲法改悪反対共同センター

東京地評、東京憲法会議

## ブックレット「国会議員定数削減と私たちの選択」が大好評

会場の書籍コーナーには、ブックレット「国会議員定数削減と私たちの選択」(新日本出版社刊 500 円)を求め列ができました。「周りの人にあげる」「学習会をやる」と言って2冊、5冊とまとめ買いする参加者もいました。

# 「政党間の話し合い」は、選挙制度、憲法など「4つのテーブル」で 森喜郎元首相語る

森元首相は6月9日付産経新聞「単刀直言」で、民主党と自民党などとの協議について、あけすけに語っています。改憲を含め、政局は激しく動いており、予断を許しません。

森元首相の発言の一部は以下のとおりです。

「民主党が『力を貸してほしい』と言ってきているんだから絶好のチャンスじゃないですか。今こそ懸案事項を各党で話し合う『4つのテーブル』を置くべきなんだ。」

「1つは、『震災復興・原発事故対策』、2つ目は『税と社会保障の一体改革』、3つ目は『選挙制度』。そして4つ目は『憲法』。」

「別に大連立にこだわらなくてもよい。超党派協議でもいいんだ。」

「とにかくこの4つのテーマをみんなで真剣に議論し、1年ならば1年と期限を区切って結論を出すことが大切なんですよ。」